

平成25年2月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

◎ 代表質問

五人会
3番 上野安是

1. 平成25年度一般会計予算について

平成25年度は「井原市第6次総合計画後期基本計画」のスタートの年となります。

計画に掲げる6つの基本目標ごとにより具体的に

- ①「郷土愛の醸成」
- ②「子どもの笑顔の創出」
- ③「健康寿命の延伸」
- ④「地球にやさしい環境の創出」
- ⑤「井原ブランドの構築と発信」
- ⑥「安全・安心の確立」
- ⑦「協働のまちづくりの推進」

の7つの重点分野を示されております。

重点分野それぞれについてどのように平成25年度一般会計予算に反映されているのかお伺いします。

井原市民クラブ
15番 河合建志

1. 学校でのスポーツ指導と体罰について

昨年12月に大阪桜宮高校のバスケット部の主将が顧問教諭の体罰や暴言に起因して、自ら命を絶った。

また、柔道女子日本代表の監督とコーチが国内トップ選手に暴力やパワーハラスメント行為をし、15名の選手が日本オリンピック委員会（JOC）に告発した。監督とコーチは戒告処分となり辞任した。その他連日のように各地で体罰に

関する報道が続いている。文部科学省は全国の教育委員会に実態調査を指示した。当市の実態と今後の指導方針について伺う。

2. 通学路の交通安全確保について

国道313号、芳井町築瀬の松下採石場付近の歩道は幅員が狭く、また、車道側にガードレールもない。付近は交通量も多く通行車両はスピードを出す場所である。児童・生徒にとっては非常に危険であるが、この通学路を多くの児童・生徒が利用し通学している。京都府亀岡市や栃木県鹿沼市で通学中の学童の列に車が突っ込み、多数の死傷者が出たことは記憶に新しい。通学路の交通安全確保に対する市の考えを伺う。

◎ 個人質問

2番 藤原浩司

1. まちづくり等について

- 1) 井原市各地域（商店街を含む）のまちづくりについて、どのように考えているのか。
- 2) 井原市各地域（商店街を含む）の特色をどのように考えているのか。
- 3) 井原市（商店街を含む）の「まちづくり」とは、何か。

20番 森本典夫

1. 教員の精神疾患での休職の実態と対策は

昨年12月24日に文部科学省は、うつ病などの精神疾患で休職する教員は5,274人と発表しました。

井原市では、精神疾患で休職している教員の病気休職者全体に占める割合はどの程度なのでしょう。また、その原因をどう分析され、それに対する対策をど

う講じておられるのでしょうか。

2. 井原市民病院の待ち時間の更なる改善を

井原市民病院では、診察時や診察が終わって会計処理をするまでの間での待ち時間短縮について日々努力されていますが、まだ「待ち時間が長い」という声を聴きます。

待ち時間の状況を的確に把握し、職員は待ち時間の短縮改善に取り組んでおられると思いますが、各部署での待ち時間の現状はどのようでしょうか。

また、待ち時間の短縮のための対策をこれまで以上に改善すべきではと思いますが、新たな改善策を考えておられますか。

3. 福祉事務所に警察官OBを配置すべきではないと考えますが

厚生労働省は、生活保護の「不正受給対策」として、国の補助金を使い、福祉事務所に警察官OBの雇用を積極的に検討するよう指示しています。

もしこのようなことをすれば、本当に保護が必要な人が、窓口相談に行くことさえ萎縮してしまいます。

井原市は、福祉事務所に警察官OBを配置しないことを強く求めますが、市は、どのように考えておられますか。

4. 2学期制を検証する委員会の設置と今後のスケジュールは

井原市での2学期制に関する検証を委員会を立ち上げて行うことになっていきますが、現在までの経過と今後のスケジュールをどう立てておられますか。

5. 家庭ごみの排出量増加傾向に対する抜本的な減量対策は

市が指定ごみ袋方式でごみ収集を有料化して3年目になります。『「燃やすごみ」「燃やさないごみ」が2年連続増加した』と、先日新聞報道されました。

ごみ有料化を市議会で議論した際に、私は、「一時的には排出量は減るけれども、数年たつと増加してくる」と指摘しました。

このまま推移すると、近い将来実施前の排出量に戻ってしまい、市民への負担だけが残る、有料化当初の減量化という目的が崩れてしまうこととなります。

そこで増加傾向に対する抜本的な減量対策を講じる必要があると思いますが、その対策をお考えでしょうか。

6. 歯科当番医制の充実を

現在、歯科の当番医制は、5月と年末年始の大型連休の時だけとなっています。通常の日曜日に、耐えられない程の痛みに襲われ、受診したくても井原市内で受診できず、福山まで行って受診したというケースを聞きます。

歯科医師会とも協議していただき、医科の当番医制のように、通年で日曜、祭日の当番医制を実施していただけないでしょうか。

7. 公共施設でアスベスト使用箇所は皆無でしょうか

先般、倉敷市が公共施設でのアスベスト使用の詳細調査をした結果、使用箇所が発見されたと新聞報道されていました。

井原市では、これまでに調査をして使用箇所があれば除去の作業を行ってきました。ただ、倉敷市のように、詳細に調査をすることによって使用箇所が発見されることがあります。

井原市では、公共施設でアスベスト使用箇所は皆無でしょうか。

1 番 坊 野 公 治

1. 井原市の観光行政について

1) 井原市の観光パンフレットの見直しを計画されているが、現在までの進捗状況を伺う。

2) 井原駅構内に観光案内所を設置してはどうか伺う。

2. 井笠鉄道資料館建設について

井原バスセンターの改修に伴い、井笠鉄道資料館を建設し、車両・資料の保存を行ってはどうか伺う。

4 番 簗 戸 利 昭

1. 学校給食について

学校給食における市内及び県内産食材の使用割合を増やす取り組みについて伺う。

2. 新規就農者の現状について

新規就農者の現状と確保に向けた取り組みについて伺う。

12番 佐藤 豊

1. 市制施行60周年事業について

本年、本市は昭和28年に市制を施行して60周年を迎えます。先に60周年を迎えた笠岡市では、行政が実施主体の事業と市民が実施主体の事業による、市制施行60周年記念の催しが1年にわたって実施され、市政発展に向けた新たなスタートが切られています。

本市としても市制施行60周年の歴史を踏まえながらの記念行事の開催により、記憶に残る年にすることが今後の本市の活性化に大きく貢献すると考えます。本市としての市制施行60周年記念行事に対する基本的な考え、また、メイン行事についての考えを伺います。

2. 小型家電の無料回収について

小型家電リサイクル法が本年4月1日より施行されることになっています。この目的は、1に資源確保、2に有害物質管理、3に廃棄物減量化とされ、その観点を踏まえ循環型社会形成の推進を目的にしています。全国的には小型家電のリサイクルが一部の地域や品目において先行的に行なわれていましたが、この法律により、これらの取り組みが全国的なものとなります。

2月15日の新聞紙上に井笠5市町で小型家電の無料回収を、来月より実証実験として共同で取り組むとあり、また、県内初の取り組みと聞きますが、具体的な取り組みについて伺います。

3. 地域生活支援事業での日中一時支援事業の拡充について

障がいのある人の日中活動の場として、また、障がいのある人の家族の介護負担を軽減する取り組みとして日中一時支援事業が市内の医療法人や社会福祉法

人など5カ所の施設で行なわれています。

障がいのある人がいる家庭にとっては大変喜ばれ、また、ニーズも多いと聞きます。しかし、そうしたニーズとは対照的に委託費単価が低いため実施する事業所が増えない現状にあるように聞きます。隣の笠岡市では、そうした現状と井笠地域障害者自立支援協議会の要望を受け、委託費単価の改善により事業者が参入しやすい環境づくりを展開する方向のようです。本市としても前向きな検討で支援の拡充を図るべきと思いますが、本市の考えを伺います。

5番 西田久志

1. 小学校の老朽化した木造校舎の建て替えについて

井原市第6次総合計画後期基本計画(案)に「老朽化が進む教育施設について、大規模改造、改築等を計画的に実施することにより安全で快適な教育環境づくりを進めていく」とあるが、市内にある小学校の老朽化した木造校舎を建て替える考えはないか伺う。また、建て替えの場合、木造校舎にする考えはないか伺う。

2. 「人・農地プラン」の進捗状況と重点施策について

1) 地域農業発展のための「人・農地プラン」の策定が現在進められている。その進捗状況と重点施策について伺う。

2) 井原市独自の補助制度を導入したらどうか伺う。

7番 三輪順治

1. 活力あふれる井原市の創出について

将来にわたり、市民お一人おひとりが希望をもち、また、元気ある井原市を創るには、地場企業それぞれが一層の体力を付け、また、賑わいのあるまちづくりが欠かせない。

そこで、次の2点についてお尋ねしたい。

1) 井原市の新年度予算に新規事業として「井原駅前通り賑わい創出事業」という名称で3千万円計上されているが、その事業概要と、井原駅前通りの将来ビジョンについてお伺いしたい。

関連して、今後5年間程度を見越した井原商店街の活性化策と地元経済の活性化策、雇用の確保対策の具体策についてもお考えをお聞かせ願いたい。

2) ポニー跡地について、昨年の本会議でも質問しましたが、競売物件としての応募者はなく不調に終わったとのこととあります。井原市として、井原駅前通りのへそともなり得る、この地一帯の活用策と取得意向について再度お尋ねしたい。

2. 市立高等学校について

以下の点について、市長及び教育長の考え方をお尋ねしたい。

- ・適地とした候補地選定までの経緯
- ・検討体制とアクセスや近隣の環境問題、議会に対する報告等を含む
- ・岡山県での検討結果（岡山県高等学校教育研究協議会報告）との整合性
- ・将来における経営体制及び県の主管部門との調整について
- ・今後のスケジュールと全体投資額
- ・生徒たちと候補予定地への対策

3. 協働のまちづくりについて

1) まちづくりに関し、市民との協働の推進体制として、本市では13小学校区単位で組織化を目指されている「地区まちづくり協議会等」の今日時点での結成状況と、活動実績全般についてお伺いしたい。

2) ①新年度、市としてのこれら協議会等に対する財政支援策及び期待されている、具体的取組についてのお考えをお尋ねしたい。

また、各学区ごとにまとめられるであろう「学区（地域）計画」の実現のための手法として、「ヒト・モノ・カネ」の諸点からの考え方をお聞かせ願いたい。

②その活動拠点は「公民館」ですか。また、「協働のまちづくり」といった今日的な機能を「公民館」に求めるのであれば、この際、その所管を教育委員会から市長部局に移管されてはいかがですか。ご所見をお伺いしたい。

3) 「パートナーシップ推進員」は、各学区ごとに2名配置されていますが、現在でも、その職員に対し月額5千円の報償費は支払われていますか。であるならば、「パートナーシップ推進員」が「ボランティア」である根拠についてお伺いしたい。